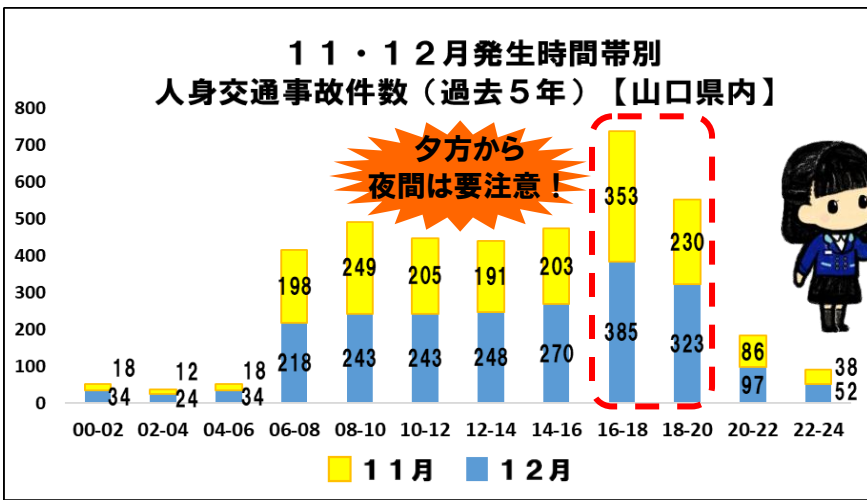




高齢者の交通事故防止県民運動期間中

道路横断中の高齢者が被害に！

11月10日(火)午後7時30分頃、下松市生野屋西1丁目の市道上において、軽四乗用車(20代女性運転)と道路横断中の歩行者(80代女性)が衝突する交通死亡事故が発生しました。



例年この時期は、交通量の多い時間帯に日が暮れるため、夕暮れ時から夜間にかけて交通事故が多発します。

ドライバーの方は、**ハイビームの上手な活用**と緊張感を持った運転、歩行者の方は横断前の十分な安全確認と反射材や懐中電灯等の活用を徹底し、交通事故を防止しましょう。

運転者の方へ～横断歩行者に注意しましょう

緊張感を持った運転

慣れた道でも油断せず、周囲の安全確認を徹底するとともに、常に危険を予測した運転に努めましょう。

ハイビームの上手な活用

ハイビームを活用することにより、照射距離が伸び、危険の早期発見に繋がります。

※ 前方や対向車線に他の車がいる場合は、ロービームに切り替えましょう!

歩行者の方へ～安全確認・反射材着用を習慣づけましょう

横断する時は・・・

- 道路を横断する前はもちろん、横断中も左右の**安全確認**をしっかりと行いましょう。
- 近くに横断歩道がある時は、**横断歩道**を利用しましょう。
- 斜め横断など危険な道路横断はやめましょう。

反射材の活用

夜間、外出する時は、**明るい色の服装**で、**反射材**や**懐中電灯**等を活用するなど、自分の存在をアピールすることを心掛けましょう。